

ステンレス鋼製 ガスケット継手 (U J R)  
取扱説明書

ご使用される前に、必ず本取扱説明書の内容をご理解の上、  
正しくご使用願います。

株式会社フジキン®

## 目 次

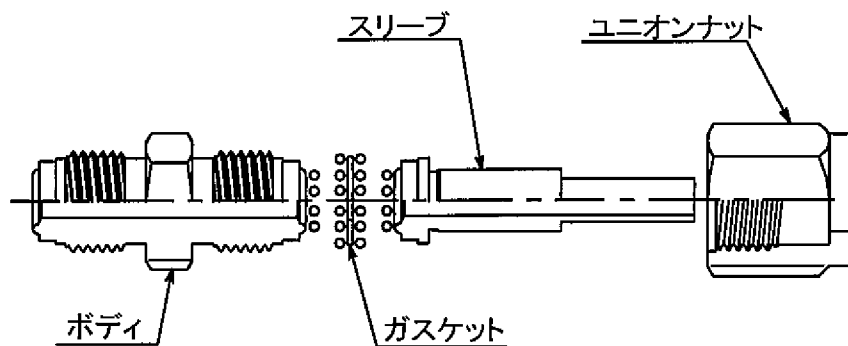
1. はじめに	P 1
2. ガスケット継手(UJR)について	P 1
3. 材質について	P 1
4. 締め付け施工について	P 2
5. 再締め付け施工について	P 3
6. トラブル発生時の処理について	P 3
7. その他のご注意事項	P 4
添付資料. 「ステンレス鋼製 ガスケット継手ピュアリング®」取扱説明書	P 5

## 1. はじめに

ステンレス鋼製ガスケット継手(UJR)は、精密継手メーカーとして長年の経験によって蓄積された技術を駆使し、末端の部品にいたるまで細かい神経の上にとって設計製作されたものであり、又、半導体製造設備用として厳重なる品質管理を行って製造しておりますので、取り扱いの際にもご配慮願います。

## 2. ガスケット継手(UJR)について

ガスケット継手(UJR)はチューブをスリーブに溶接し、そのスリーブ先端シール部とボディ先端シール部との間に(金属)ガスケットを挟み込み、ユニオンナットを締め付けることによりシールする精密ユニオンチューブ継手であります。そのため、ボディ先端シール部、スリーブ先端シール部、ガスケットの表面には傷等をつけない様ご配慮願います。(下記の○印部シール面)



## 3. 材質について

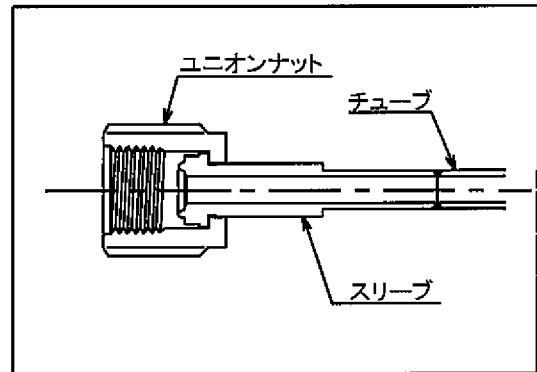
ガスケット継手(UJR)の標準材質は、ボディはステンレス鋼のSUS316、スリーブは低カーボンのSUS316Lであります。標準材質以外をご希望の場合は発注前に弊社へお問い合わせ下さい。

又、ガスケットは銀メッキ付ステンレス鋼(SUS316L)、銀メッキ付ニッケル、メッキなしニッケル、メッキなしステンレス鋼(SUS316L)を取り揃えております。

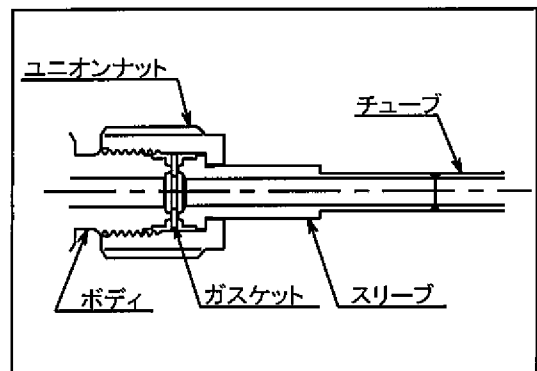
## 4. 締め付け施工について

- (1) スリーブにユニオンナットが装着された状態でスリーブにチューブを溶接します。(溶接時は、内部に不活性ガスを流して酸化を防止して下さい。従って、シール部の先端の保護キャップをはずすため、傷が付かない様ご配慮下さい。)

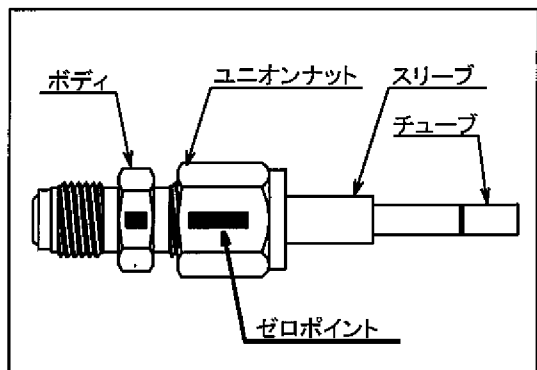
溶接から締め付けまでに時間がある場合は、ガスケット、ボディを仮組立しておくか、又は、溶接後十分に冷却した後、再度、保護キャップを付けて下さい。



- (2) チューブを溶接したスリーブとボディの間にガスケットを入れ、ボディ、ガスケット、スリーブ端面を密着させ、ユニオンナットを指で回らなくなるまで締め付けます。

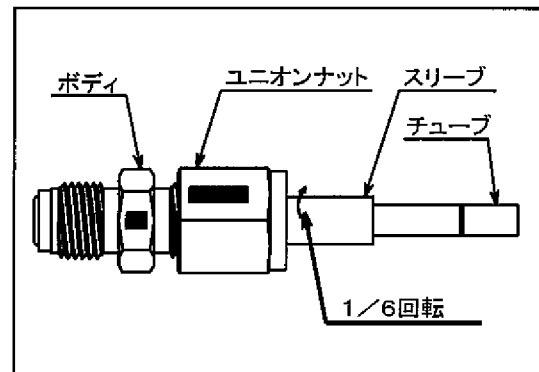


- (3) ボディとユニオンナットにマジックインキ等で印を付けます。この位置をゼロポイントとします。



- (注) 配管に応力がかかり、手締めが困難な場合は、スパナ等で締め付けを行い、急激に締め付トルクが重くなる位置をゼロポイントとしてください。

- (4) ゼロポイントの位置よりスパナにてユニオンナットを1/6回転締め付けます。(締め付けの際には、必ずボディを固定してユニオンナットの方を廻してください。又、スパナは六角対辺に合ったものを必ずご使用下さい。)  
締め付けはこれで完了です。



- (注) 締め付け過ぎますと、UJR先端部の変形、焼き付き等が発生して再使用出来なくなることがあります。

締め付け回転数については、基本は1/6回転ですが、従来の締め付け回転数1/8～1/6回転で施工して頂いても、シール性能に問題はありません。

- (5) 締め付け完了後は必ず漏洩が無いかご確認ください。  
漏洩が発生した場合は「6. トラブル発生時の処理について」の手順に従って処置を行って下さい。

## 5. 再締め付け施工について

再締め付けの場合も全く同じ要領にて締め付けます。この際、本継手の信頼性を確保するために必ずガスケットは新品に交換をお願い致します。

## 6. トラブル発生時の処理について

本継手は正しい施工方法により作業を行えば漏洩が発生することはありませんが、締め付け困難な場所や極端な斜め配管にて作業を行った場合、ゼロポイントの位置がずれたことによる締め付け不足やシール部の片当りが発生し、漏洩することがあります。

漏洩が発生した場合は、一度、圧力を抜き、下記の何れかの処置を行ってください。

- ①そのままの状態にてユニオンナットを1/12～1/8回転締め付けて下さい。
  - ②ユニオンナットを緩め、シール部(スリーブ、ボディのR先端)にキズやゴミの付着がないか確認して下さい。  
キズやゴミの付着がない場合、ガスケットを新品に交換して、再度、施工要領通りに施工を行って下さい。
- ※キズが確認された場合、再度施工してもキズにより漏洩が発生する場合がありますので、必ず継手を新品に交換して下さい。  
※ゴミが付着していた場合はゴミを除去後、再度シール部の確認を行って下さい。

漏洩の原因としてはゴミの噛み込み、シール部のキズ等も考えられます。

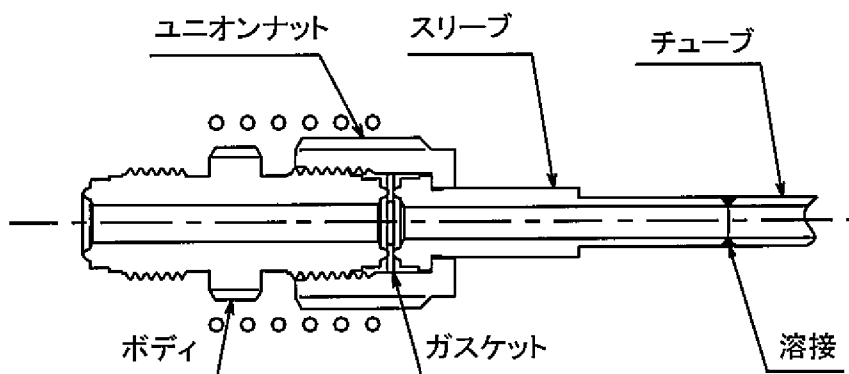
- ①の方法にて漏洩が止まる可能性もありますが、より確実な方法としては②の方法をお奨め致します。

- (注) 処置完了後は再度、漏洩が無いかご確認ください。

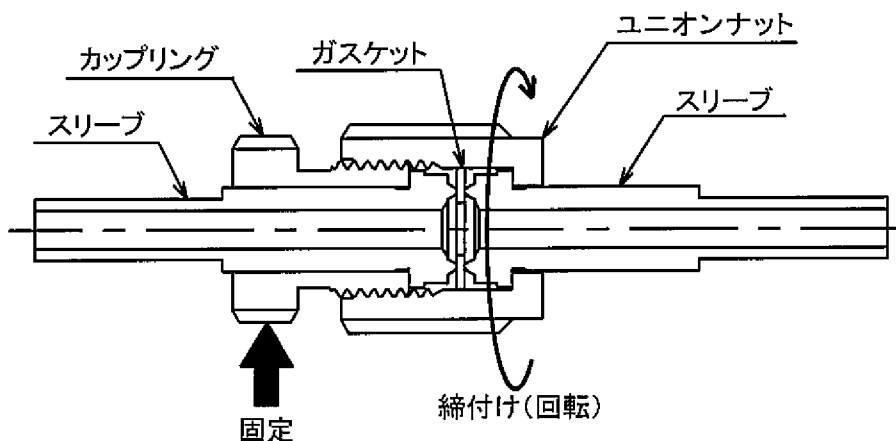
## 7. その他のご注意事項

- (1) 継手、パーツを誤って落下させた場合、そのまま使用せずにキズ及びゴミの付着がないことを確認してからご使用下さい。（特にボディ先端シール部、スリーブ先端シール部、ガスケットの表面。）
- (2) ティー、エルボ継手の締め付け時には、できるだけティーレンチをご使用下さい。
- (3) パーティクル検査時、配管をたたくと継手のスリーブ根元に衝撃による集中応力が加わり、トラブルの発生原因にもなりかねません。そのため、できるだけ軽く又、継手本体部をたたく様、お願い致します。

・たたく箇所  
（下図の ○印 部）



- (4) メッキなしガスケットをご使用になる際は、スリーブ、ガスケットの共回りを防止し、より信頼性の高いシールを行うことができるピュアリング®を必ず装着してご使用下さい。  
尚、ピュアリング®装着時の施工要領は添付資料のピュアリング®取扱説明書をご参照願います。（5/6頁参照）
- (5) カップリング及び、ユニオンナットで接続される場合（下図参照）、必ずカップリングが回転しないようにレンチでしっかり固定し、ユニオンナットを回転させて締め付けを行って下さい。  
カップリングを回転させてしまいますとシール面が齧り、リークが発生する可能性があります。

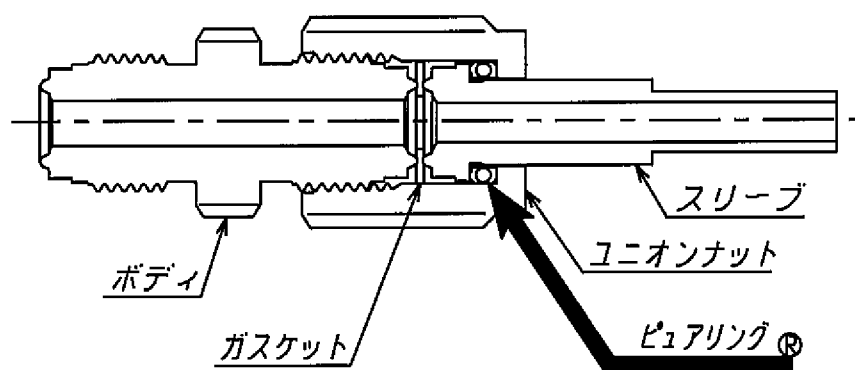


## ステンレス鋼製ガスケット継手ピュアリング®

### 取扱説明書

#### 1. ピュアリング®について

ステンレス鋼製ピュアリング®は、締め付け時に発生するスリーブやガスケットの共回りを防止する事により、シール性をより安定させ締付トルクの低減を計ることができます。



#### 2. 締付施工について

締付要領は標準UJR継手と同じです。  
マニュアル通りの回転数で締め付けて下さい。

#### 3. ご使用上のご注意事項

- (1) ピュアリング®を標準ナットでご使用される場合の最高使用圧力は1MPaです。1MPaを越える圧力でご使用の際には、高圧専用ロングナットとセットでご使用下さい。(尚、高圧専用ロングナットは、ピュアリング®使用時のみに使用するナットです。)

品番例 : UJR-6.35N-L  
↓  
ロングナット

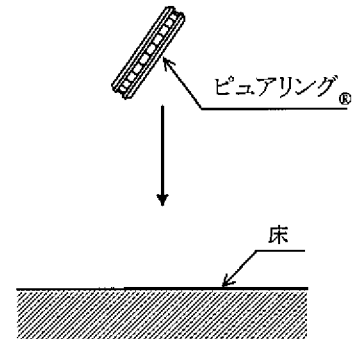
- (2) 締付施工時ピュアリング®をご使用になりますと、締付トルクが低減されますので過剰な締め付けにならない様、十分ご注意のうえ、施工して下さい。
- (3) ピュアリング®は強度確保のため他のパーツに比べ若干耐食性が劣ります。屋外配管等で雨水のかかるような場所でご使用できません。ただし、ピュアリング®部に雨水等がかからない様に対策をとっていただいた場合はこの限りではありません。

- (4) ピュアリング®は通常の施工では分解等発生することはありませんが、落下等の衝撃（例－1、例－2を参照願います）が加わると分解する可能性がありますので取り扱い時には充分なご配慮をお願い致します。

《落下による衝撃例》

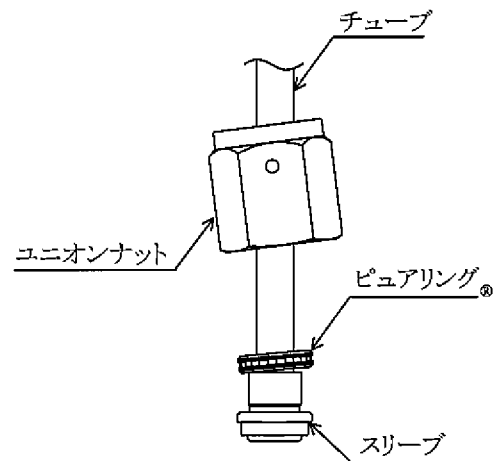
(例－1) 単体での落下による衝撃

ピュアリング®は小形部品ですので取り扱い時、落下させないようにお願い致します。



(例－2) 配管取付状態での落下による衝撃

配管取付状態ではピュアリング®はユニオンナットとセットで取付られます。その状態で配管上を滑らせますと、スリーブの段の部分でユニオンナットの落下衝撃を受ける状態となります。配管取付終了後はユニオンナットが配管上を移動しないようご配慮をお願い致します。



以 上